

整形外科専門医コース

Orthopedic Surgery Residency Program

● 専門研修医全数：48人

● 連絡先

新潟大学医学総合病院 整形外科
総括医長 山際浩史

TEL：025 (227) 2272 / 2273 FAX：025 (227) 0782

E-mail：Hymgw@med.niigata-u.ac.jp

HP URL：http://www.med.niigata-u.ac.jp/ort/orthop_home.html



● 研修実施責任者
新潟大学医学総合病院
整形外科教授
遠藤直人

専門医、指導医、施設認定、関連施設

● 各種学会認定専門医数

- 日本整形外科学会整形外科専門医：307人
- 日本整形外科学会認定リウマチ医：31人
- 日本整形外科学会認定スポーツ医：44人
- 日本リウマチ学会リウマチ専門医：19人
- 日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医：14人

● 各種学会認定指導医数

- 日本リウマチ学会指導医：7人
- 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医：17人

● 各種学会専門医修練施設としての認定

- 日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本リウマチ学会教育施設
- 日本手の外科学会認定研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設

● 診療科指導担当医師数：13人

● 関連病院（○印は各種学会専門医修練施設を示す）

- 秋田赤十字病院 ○鶴岡市立荘内病院 ○新潟県立新発田病院
- 新潟市民病院 ○新潟中央病院 ○長岡赤十字病院
- 厚生連長岡中央総合病院 ○新潟県立中央病院
- 水戸済生会総合病院 ○聖隷浜松病院 他多数。

科(部)の概要

● 整形外科の基本理念

整形外科の理念は患者さん中心の医療を実践し、さらに 1) 患者さんを総合的、包括的に診療・治療できる医師 2) 高い臨床技量を持つ整形外科医 3) チーム医療を実践し、多くの関連職種の方とコミュニケーションをとれる医師を育成することである

● 施設の概説

新潟大学整形外科学講座は大正6年（1917年）本邦で4番目に開講し、来年90年目を迎える国内有数の伝統教室です。伝統を大事にしながら最新の治療も導入し、整形外科のすべての分野において高いレベルの治療を行っています。伝統的に自由かつ自主性を重んじる教室で、若い人の意見もどんどん取り入れられる雰囲気です。関連病院の中には新潟県のみならず、東北や茨城県、静岡県に、地域の2次および3次医療を担う多くの中核病院があります。この中には特色ある研修病院が多くあります。

処 遇

新潟大学医学総合病院で研修を行う場合は、医員・レジデントとしての給与の他に、週1回程度の出張による収入などがあり600万～1,000万程度の年収となります。関連病院における研修の場合は、各病院ごとに異なりますが、1,000万～1,500万円程度の収入です。医師賠償責任保険は日本整形外科学会の団体保険に加入することを全員にすすめています。年間の掛け金は5万円程度です。宿舎については、新潟大学医学総合病院や大都市の病院での研修の際は各自で宿舎を見つけていただく必要がありますが、多くの関連病院では宿舎の準備あるいは斡旋を行っています。

Program

● 専門研修の特色

手術療法を行う外科系医師としての研修には、1) 多くの症例の診察、手術、術後療法に参加し高い診断能力や治療技を習得すること 2) 指導医からの指導、講義や学会、論文を通じての最新知識の吸収 3) 臨床や研究を通じて判断力、応用力を身につけることのバランスがとれていることが重要です。さらに、先輩医師の姿を見て、また社会的経験を通じて人間的に成長していただくことが重要です。

専門研修医に研修を行っていただく病院は、新潟大学医学総合病院ならびに秋田県、山形県、新潟県、茨城県、静岡県の中核病院であり、非常に多くの臨床経験、多くの優秀な指導医、整形外科すべての分野の研修を受けることができます。東京近郊などの研修病院や研修医が集中している地域に比較するとおそらく忙しい勤務状態になりますが、その分豊富な臨床経験を積むことが可能です。「鉄は熱いうちに鍛えよ」の言葉通り、実際多くの研修医は研修修了までに数百例の執刀経験を通じて優秀な外科医へと成長していきます。現在までの研修医は全員が日本整形外科専門試験に合格しています。研修開始後の約3年間は整形外科全般を研修していただきます。その後は本人の希望に応じて専門的な研修・研究を行っていただきます。

● 専門研修プログラムの概略

すべてのコースにおいて最初の2年間は大学院および関連病院における臨床研修を行います。これはこの後の臨床研修や大学院生としての研究を行うにあたり、重要な基礎的知識や経験をさせていただく期間です。この後は、研修医各自の希望にそって、大学院に進学するAコース、臨床研修を続けるBコース、臨床研修を続けながら社会人大学院として研究を行うCコースの3コースに分かれて研修を続けていただきます。研究や研修は新潟大学および関連

病院を中心に行っていただきますが、希望者は国内や海外への留学も積極的に行っていただきます。大学院に在籍中も週1回の出張は続けていただきますので、ある程度の臨床経験と収入を得ることが可能です。どのコースを選択したとしても、研修中に日本でも有数の臨床経験（執刀経験）を積むことが可能です。

	卒後	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A course		卒後臨床研修		新潟大学あるいは関連病院： 整形外科臨床研修 (整形外科、運動器疾患の外傷・初期対応、基本手技、リハビリテーションを研修)			大学院進学：研究 ・新潟大学／国内、国外留学 ・基礎研究あるいは臨床研究 ・高学年では臨床研修も行う ・整形外科専門医取得 ・学位取得			関連病院および新潟大学 ・臨床研修	
B course		卒後臨床研修		新潟大学あるいは関連病院： 整形外科臨床研修 (整形外科、運動器疾患の外傷・初期対応、基本手技、リハビリテーションを研修)			関連病院および新潟大学で臨床研修 ・外傷および慢性疾患全般 ・整形外科専門医取得 ・専門領域、先端医療の研修 (手術手技、保存療法) ・プライマリケア研修				
C course		卒後臨床研修		新潟大学あるいは関連病院： 整形外科臨床研修 (整形外科、運動器疾患の外傷・初期対応、基本手技、リハビリテーションを研修)			関連病院および新潟大学で臨床研修 ・外傷および慢性疾患全般 ・整形外科専門医取得 ・専門領域、先端医療の研修 (手術手技、保存療法) ・プライマリケア研修			社会人大学院 (臨床研究、臨床研修)	

#10年目以降：1) 指導医、2) 基幹病院、専門病院勤務、3) 第一線地域中核病院勤務へ進む



プライマリーから最先端まで

整形外科全般を幅広く研修していただくことはもちろんですが、その後専門家を目指す人には関連病院のうちの専門研修施設、国内、国外留学（常に数人留学中）により高い専門性も身に付けていただきます。関連病院のなかには、股関節外科、手の外科・マイクロサージャリー、脊髄・脊椎外科、膝スポーツ医学、リウマチ、小児整形外科の専門施設があります。また、

リハビリテーションや兄弟教室である形成外科の研修も希望に応じて受けられます。将来、秋田県、山形県、福島県、茨城県、静岡県を生活の基盤にしたい方の研修も大歓迎します。どこの病院でも、レベルの高い研修や魅力ある指導医、充実した生活が皆さんを待っています。